

感染の拡大を防ぐには

嘔吐物やふん便是、ウイルスを浮遊させないよう正しく処理しましょう

- 嘔吐物やふん便是、速やかに処理することがとても重要です。
ノロウイルスは、乾燥すると空中に漂い、これが口に入りて感染することがあります。
- ビニール手袋(なければビニール袋を手にはめて代用)、マスクを着用して、直接触れないよう処理します。処理し終わったら手袋をはずし、すぐに石けんで十分に手を洗いましょう。
- 処理した場所は、塩素系消毒薬で消毒しておきます。
ノロウイルスの消毒には、塩素系消毒薬が有効です。
消毒用アルコールや逆性石けんはあまり効果がありません。
消毒の方法は、以下を参考にしてください。



家庭用塩素系漂白剤を使った、希釈と消毒の方法

一般的に市販されている家庭用塩素系漂白剤(塩素濃度:約5%)を利用した場合の方法を紹介します。

濃度	消毒するもの	消毒の方法	希釈液の作り方
50倍 (約1000ppm 約0.1%)	便や嘔吐物が付着した床、衣類、リ넨類、トイレ、風呂など	便や嘔吐物は、ペーパータオル・布等で軽く静かに拭き取り、ビニール袋に密封して廃棄する。 ↓ 床:50倍液で浸すように拭いた後、水拭きする。 衣類等:50倍液に30分程度つけこむ。 トイレ等:50倍液で洗い30分放置し、水で洗い流す。	500mlの漂白剤 + 水500ml
200倍 (約200ppm 約0.02%)	ドアノブ、調理器具、おもちゃなど	200倍液に浸したペーパータオル・布等で拭き、消毒後、水拭きする。	2Lの漂白剤 + 水2L

Q 調理台や調理器具の消毒はどうすればいいの?

A 調理器具などは洗剤で十分に洗浄した後、家庭用塩素系漂白剤の200倍液で浸すように拭きます。

また、まな板、包丁、食器、ふきん等は、熱湯(85℃以上)で1分以上の加熱が有効です。この他、じゅうたんなどでは、スチームアイロンの利用も効果があります。

Q 石けんで殺菌できないのなら手洗いは水洗いだけでもいい?

A 手洗いは、石けんを泡立て、流水で十分にすすぐようにしましょう。石けん自体にはノロウイルスを殺菌する効果はありませんが、手の脂防などの汚れを落とすことにより、ウイルスを手指から剥がれやすくなる効果があります。

石けんを泡立てながら十分に手をこすり、泡を落とすために十分にすすぐことが、ウイルスを除去するためには重要なことです。

「すぐにふきとる」
「乾燥させない」
「消毒する」の3原則

ノロウイルス 食中毒も 感染症も予防しましょう!

ノロウイルスは、ヒトに感染して下痢や嘔吐などの胃腸炎症状を引き起こします。ノロウイルスによる食中毒や感染性胃腸炎は、年間を通じて発生がありますが、特に11月から3月にかけての冬の間に多発しています。感染の経路によって「食中毒」と「感染症」に分けられますが、もとは同じものです。

患者のふん便や嘔吐物には、たくさんのウイルスが含まれています。家庭や集団生活の場では、簡単に感染が広がることがありますが、ちょっとした心がけで、「ヒトへの感染」や「ヒトからの感染」の確率をぐっとあさえることができるのです。



ノロウイルスに感染したらどうなりますか?

感染すると1~2日後に発症します。主症状は、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱などです。通常、これらの症状も1~2日で回復しますが、高齢者や乳幼児では脱水症状などにより重症化したり、嘔吐物を誤って気道に詰まらせて死亡することがあります。

なお、症状があさまっても、1週間くらいは便にノロウイルスが排出されるといわれますので、その間も二次感染の防止に注意が必要です。